

輝きナースの部屋

《ある看護師さんからの推薦：いつも明るく笑顔で対応されています》

C3病棟 西上光代さん

自己紹介

出身地は弥栄町です。大学を卒業後就職していましたが、医療系の仕事がしたいと思い、体を動かすことが大好きなので看護師を目指し京都府立看護学校に入学しました。看護学校1年生の時にブレイクダンスの世界大会がフランスであり、参加して1位になりました。昨年結婚して6月に出産予定です。

看護師として心がけていることは

終末期の患者さんに関わる時は、家族の心の準備ができる時間が大切だと思っています。現実には「十分に話が聞けていなくて、これでいいのだろうか」と疑問もありますが、少しでも家族の方の支えになるよう日々ケアを行っています。

現在はスタッフの方の協力を得て、妊娠中のため夜勤免除で仕事をさせてもらっています。体調もよく、スタッフの方々に感謝しています。

後輩へのメッセージ

卒業して1~2年目は業務で精一杯でしたが、3年目になってからは、退院後の指導をして相手の方に理解してもらえると嬉しくなりました。自分の意見を持つことが大切であると思っていますが、一方チーム医療の難しさも感じています。覚えないといけないことはたくさんありますが、患者さんの事を考えて安心・安全な看護を提供できるように頑張ってください。



《ある看護師さんからの推薦：笑顔がすてきでやさしい看護師さん！》

B3病棟 山本和代さん

自己紹介

出身地は大宮町です。高校の先生に勧められて看護師になりました。

看護師として心がけていることは

人としての常識を忘れず、患者さんや家族の人を自分の身内や家族と思い接するように心がけています。また、患者さんや家族だけでなく職員に対しても、優しく対応するように努力しています。

印象に残っていること

若い癌の患者さんで、「人工肛門を造らないといけないかもしれない」というので悩んでおられた方が、セカンドオピニオンを受けられ、結果化学療法を選択され、人工肛門を造らず元気にされているのを嬉しく思っています。

子育てをしながら続けられた秘訣はありますか

同居している義理母に協力してもらいました。その母が6年前に病気になり介護しなければならなくなりましたが、家族の協力を得て看護師の仕事が続けられました。毎日が精一杯ですが患者さんとお話をしていると、仕事をしていてよかった！続けていてよかった！と思います。

後輩へのメッセージ

既婚者で三交替を続けていくことは大変ですが、同じ仲間と色々な話をするなかで、ストレスを発散して、前向きに楽しみながら看護をして下さい。



職場作りプロジェクト通信は、病院看護部のホームページに掲載されています。みなさんぜひ見てください。

平成28年度は、あなたの所へインタビューに行きます。待っていてください。

